

# 民有林と連携したエゾシカ被害対策

根釧東部森林管理署

## 【目的】

エゾシカ対策を行う各実施主体と連携を取ってエゾシカによる農林業被害等を効果的に減少



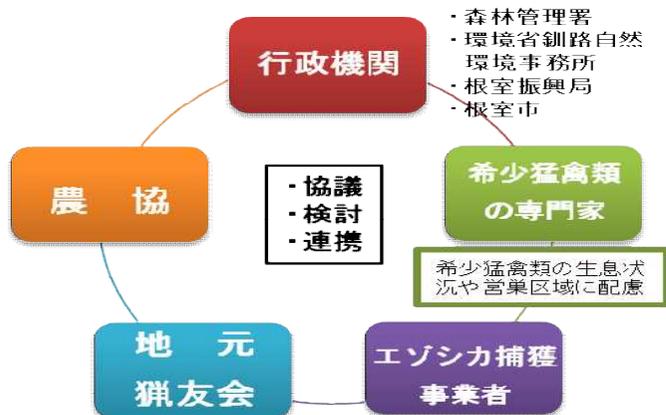
## 【背景、現状】

- 根室地域に多数生息するエゾシカによる農林被害の増加
- H26に希少動物に配慮した捕獲の時期や手法検討し捕獲を実施（106頭）

## 【課題】

- 根室地域に生息するエゾシカを減少させるため、さらに捕獲頭数を増加させることが必要
- エゾシカを捕獲したことで得られた効果を把握することが困難

## 根室市国有林内エゾシカ対策協議会



## 【平成27年度の取り組み結果】

### ○エゾシカ対策協議会

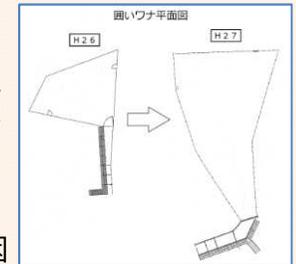
- 12月に根室市国有林内エゾシカ対策協議会が行われ、各機関から平成27年度の取組内容について情報提供したほか、希少猛禽類の専門家からシマフクロウの動向について、また、今回から加わったエゾシカ捕獲業者から根室市管内におけるエゾシカの動向についてそれぞれ説明を受けた。
- 地元猟友会から銃猟入林禁止区域に設定している箇所では有害鳥獣駆除を実施したいとの提案があり、場所、時期、方法を具体的に提示いただいた上で可能かどうか判断することとし、次回協議会で検討することとした。
- 北海道立総合研究機構からエゾシカの生息頭数の把握方法（LT法、CT法）について情報提供いただいた。



エゾシカ対策協議会

### ○署のエゾシカ捕獲結果

- 昨年度の事業実施結果及びエゾシカ捕獲業者の意見を踏まえ、囲い部、追込み部及び仕分け部を拡大したことにより、追込み作業及び仕分作業の軽減が図られた。（右図のとおり）
- 囲いわなを工夫したことにより効率的な捕獲作業が可能となった。
- 2月第1週までに93頭捕獲できたが、その後の暖冬の影響により誘引が困難となり、104頭の捕獲に至った。



囲いわなの改良

## 【課題】

- エゾシカの効率的な捕獲は進んだものの、捕獲頭数を増加させるためには夜間でもエゾシカを確認できる方法の検討が必要
- エゾシカが銃猟入林禁止区域を越冬場所として逃げ込んだ場合、他の箇所での捕獲効率が低下するため、希少猛禽類の生息地においても希少猛禽類に影響を与えない範囲で捕獲を検討することが必要



囲いわなに入ったエゾシカの様子

## 【今後に向けて】

- 生息頭数の把握手法の検討
- 希少猛禽類の生息地におけるエゾシカ捕獲の検討